

平成 28 年 5 月 27 日

## プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人パワーアップ支援室

### 1. プロジェクト名

災害時における地域の防災と減災の一助を図る市民防災員養成事業

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

この事業は、中学生以上の一般市民を対象に、個人防災や家庭防災の啓発及び災害時に役立つ初期対応の習得など防災減災活動を推進する講座を開催し、今後起きる自然災害に対して草の根的支援を迅速に行える人材を育成するとともに、被災地域における更なる被害の減災と二次災害の防災の一助を図ることを目的とした事業です。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

#### (1)市民防災員養成講座

①個人防災、家庭防災、簡易的な応急手当、災害直後の初期対応、実施地域で想定される災害の特徴を習得あるいは学ぶ講座。

②避難所の立ち上げに関するワークショップ。

#### (2)市民防災員のネットワーク構築

・自治会、地域防災組織との連絡網や連携の構築。(初期段階)

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

各開催地における、過去の災害事例や現在の危険箇所等を具体的に上げることで、自然災害をより身近なものとして感じやすくなり、個人や家庭での防災意識の向上につなげることができました。

また、防災グッズコーナーを設け、実際に手に取って確かめたり、使用することで、個人防災、家庭防災が日常的にできるということを実感することにつながりました。

内容についても、中学生以上を対象にしていることで、防災という言葉への苦手意識や壁を低くすることができました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

本県は以前から内陸部、沿岸部ともに大きな自然災害に見舞われてきた地であり、今回の事業を通して特筆すべきは、2013年内陸部豪雨災害における被災地・紫波町です。

紫波町のいくつかの地区では住民が主導し、住民の意思により地域における防災組織を結成し、避難訓練や防災訓練を精力的に行っており、講座への参加者の意識も高く、ワークショップでの意見も、より実践に近いものでした。

また、男女での意識の違いも大きく、男性はハード面を、女性はソフト面を重視する傾向にあり、それぞれの役割を果たすことで全体の調和が図られるのだと、改めて実感しました。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



地域の被害の軽減を担う  
災害時の初期対応に特化した市民による防災



### 特定非営利活動法人パワーアップ支援室

- 所在地 岩手県北上市相去町日香下30番地4
- 電話番号 0197-72-5724
- URL <http://www.power-up-support.org>  
(オフィシャルサイト)
- <http://www.iwate-support.org>  
(いわて被災地支援事業)

活動写真

